

2003.11.21 朝日

国際教養大 創設準備委

独立法人で開学

トップ 諮問会議 明石康氏ら7人

国際教養大学の「創設準備委員会」は運営体制や、運営方針といえる中期目標・中期計画案を大筋で了承し、20日に公表した。来年4月の開学時から県立で初の独立法人大学とし、副学長にはグレゴリー・クラーク・多摩大名督学長を登用。また学長の諮問会議「トッ

プ諮問会議」委員には明石康・元国連事務次長ら著名人7人が就任する。諮問会議委員には明石さんのほか、日本文学者のドナルド・キーンさん、評論家の大宅映子さん、田村哲夫・渋谷教育学園理事長、辻兵吉・秋田商工会議所会頭、野田一夫・多摩大名督学長、



国際教養大のシンボルマークを掲げる寺田典城知事（左）と中嶋嶺雄学長予定者＝県庁で

茂木友三郎・キックコマ会議」のメンバーや学部長が就任。大学の議決機関である「大学経営公表された。長ら教務部門の責任者も

中期目標・中期計画案
提案される。

には▽卒業までに学生全員がTOEFL600点以上を取得▽開学後3年をめぐり専門職大学院を設置▽県内の高校と連携し優秀な学生を確保▽一般選抜の平均受験倍率を5倍以上に保つ―などが盛り込まれた。中期目標は来年2月の県議会に記者会見した寺田典城知事は「議会や県民の理解を得るまでの苦労があったからこそ、日本にならぬ経営形態を作れた」と述べた。中嶋嶺雄学長予定者は「飾り物の諮問機関ではなく大学を世界に発信するための貴重な助言をもらう」と語った。